

公 民

「倫理」 (選択科目)	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第2学年 1～2組 第3学年 1～5組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 人間及び社会について、主体的、多面的な思考力を養います。 2 先人の思想を自己の現在に関連づけて理解を深めます。
使用教科書・副教材等	「倫理」(実教出版) 他資料集

1 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考(学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	1 青年期の課題と自己形成 (1) 自己とは何か (2) 人間とは何か (3) 青年期の課題 (4) 芸術と人生	4	青年期の意義について。自己の内面と向き合いながら、いくつかのキーワードをもとに具体的に考えていきます。	さまざまな資料を活用しながら、具体的事例を学習します。	第1学期期末考査
	2 人間としての自覚 (1) ギリシア思想 (2) キリスト教 (3) イスラム教 (4) 仏教 (5) 中国思想	5	古代ギリシャ・キリスト教・イスラム教・古代インド・古代中国の思想について理解を深めます。	難解な用語が出てきますが、できるだけわかりやすい言葉で学習します。	
	3 日本人としての自覚 (1) 古代日本思想 (2) 日本の仏教 (3) 儒学と国学 (4) 近代日本思想	6	日本の地理的・歴史的風土を紹介しながら日本の前近代～近代の思想を理解します。	日本人のものの考えかたの底に流れているものを考えます。	
		7			
期	【課題・提出物等】 授業の中で提出するプリント、ワークシート 授業で書いたレポートなど ノート				
	【第1学期の評価方法】 考査の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、ワークシートやノートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。				

第2学期	4 現代の特質と倫理的課題 (1) 現代文明 (2) 民主主義 (3) 人間の課題	9	「現代」という時代が持っている特質とその問題点を理解します。	なにげなく過ごしている「今」について考えます。	第2学期期末考査
	5 現代に生きる人間の倫理 (1) ルネサンス (2) 宗教改革 (3) 理性と人間 (4) 人格	10	現代に生きる思想・倫理について、近代にまで遡ってその起源・発展・到達点を理解します。	現代人があたりまえだと思っていることが、どうしてあたりまえになったのか、いっしょに考えます。	
	(5) 歴史と人間 (6) 社会の変革	11			
	(7) 主体性の自覚 (8) 自己と他者 (9) 近代の自然観 (10) 科学技術批判 (11) 理性の深層 (12) 言葉への反省	12			
	【課題・提出物等】				

期	授業の中で提出するプリント、ワークシート 授業で書いたレポートなど ノート
	【第2学期の評価方法】 考查の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、ワークシートやノートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。

第3学期	6 現代の諸課題と倫理 (1) 生命の倫理 (2) 環境の倫理 (3) 家族・地域社会の課題 (4) 高度情報化社会の課題 (5) 異文化理解の課題 (6) 人類の福祉と平和の課題	1 2 3	現代社会が抱えている諸課題を、課題ごとに具体的に 取りあげて、解決方法を探ります。	これからの時代をどう生きるべきか、いろいろな資料を参考にしながら学習します。	学年末 末考査
	【課題・提出物等】 授業の中で提出するプリント、ワークシート 授業で書いたレポートなど ノート				
	【第3学期の評価方法】 考查の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、ワークシートやノートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。				

【年間の学習状況の評価方法】 下記(2)に示した3つの観点から評価した第1学期、第2学期、第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。
--

確かな学力を身に付ける為のアドバイス	丸暗記ではなく、思想の背景に気をつけると理解しやすくなります。自ら考え、それぞれの事柄に対して自分の意見を明確にし、ぶつけてみるのが肝心です。 ノートは板書事項をただ書き写すだけではなく、先生の説明で自分が重要だと思ったことをメモするなど工夫をすると、大切な考え方の課程を理解できます。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	レポートなど、提出物は遅れずに必ず提出するようにこころがけてください。 授業中の疑問や意見は、なるべく発言するように心掛けてください。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	意欲的に課題を追求する態度や自分なりに意見を組み立てようとしているか、他者の意見や考えを正確に理解し、またそれに対して自分なりの判断、考えを展開できるか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・レポートとワークシート ・ノート ・授業の中で使用するプリント
思考・判断	社会的な事象に対する論理的な考え方や客観的な分析ができているか。ひとつの視点からだけではなく、多様な視点から判断できるか。	・定期考査の論述問題 ・レポートやワークシート ・授業の中で使用するプリント ・発表の内容や仕方
知識・理解	暗記項目ではなく、ものの考えかたが身に付いているか。実際に知識を活用できるか。	・レポートやワークシート ・定期考査

(3) 担当者からのメッセージ

倫理は初めのうちはどう学習してよいかとまどうかもしれませんが、自分なりの頭で考え、意見を交換することこそが大事だと気づくことになるでしょう。講義のほか、研究発表などを予定していますが、積極的に自分の意見をぶつけてみてください。なるべく皆さんの理解しやすい題材を選び、わかりやすい言葉で説明し、授業を展開します。
